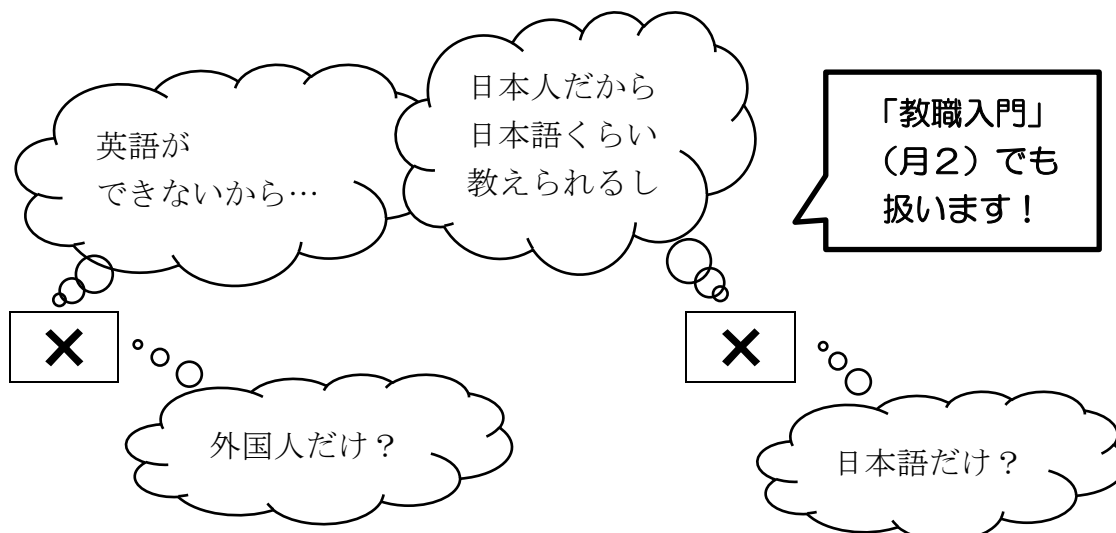


# 日本語教育

(専門領域説明会当日も配布します)

## 1. そもそも日本語教育って何?????

日本語を母語としない大人や子どもに日本語を教える(簡単に言うと)



この日本語教育プログラムは、国立大学の日本語教員養成学科・課程の設置にもなって 1985 年に文部省が示した「日本語教員養成のための標準的な教育内容(大学の学部日本語教育副専攻)」, および 2016 年に法務省入国管理局が策定した日本語教育機関の告示基準第1条第1項第13号ロで求められた日本語教育に関する科目に準拠したものであり、所定の単位を修得した者には修了書を授与します。(日本語教育専攻の学生は、卒業単位を揃えれば、修了証書が授与されます。)

## 2. 教員の紹介



氏名	研究室	専門分野
河野俊之		成人への日本語教育, 日本語教師養成, 音声学, 音声教育
橋本ゆかり		年少者への日本語教育, 第二言語習得研究, 認知言語学

質問などあれば、事前、事後にメールを [kawano-toshiyuki-nk@ynu.ac.jp](mailto:kawano-toshiyuki-nk@ynu.ac.jp)

### 3. 特長

横浜国立大学の精神:実践性,先進性,開放性,国際性のすべてがあります!

1学年が7名以下で,また,授業などではグループでの活動が多く,  
**和気あいあい**としており,かつ,切磋琢磨できる雰囲気です。  
協働の力は実社会ではひじょうに重要です。

外国につながる子どもや成人に対する**日本語教育実習**があり,日本語の教え方等を実践的に学ぶことができます。

外国につながる子どもへの**授業力・指導力**は,そうでない子どもを教える教師として重要です。

外国につながる子どもや留学生などとの**出会い**を通じて,**世界**を身近に感じることができます。日本にいながら,たとえ外国語をあまり話さなくても,世界をこれだけ身近に感じられるのは,「日本語教育」の特権です。

**1年秋学期から4年秋学期まで**,外国につながる子どものいる学校や日本語学校,国際教育センターなどに行き,見学したり支援する機会が多数あります。子どもや成人の学びについて**実践**することができます。その経験を活かし,**卒業論文**を書くこともできます。

**海外留学**を経験する学生も多数います。自分の母語や母文化を**客観的**に見ることは貴重な経験となります。また,留学先で日本語を教える機会を得た時に,「日本語教育」の専門知識が役立つのは言うまでもありません。

### 4. 卒業論文のテーマ

日本語学習者による「とんでもない」の多義性の習得—認知言語学的観点からの意味構造の比較—

「ちくちく言葉」に対する世代間の格差について

漫才におけるおかしみの構造の考察

母学級における外国につながる子どもの支援について

おじさん構文について—絵文字やカタカナ,改行などによって相手に抱かせてしまう不快感—

方言コスプレから見る共通語と方言の受け取り方の違い

発達障害が疑われる外国人児童に対する母学級の入り込み支援

### 5. 選考方法 (受け入れ上限を越えた場合)

レポート及び, GPA の予定